

叙勲受章おめでとうございます

春の叙勲
瑞宝単光章
なら よしかつ
奈良 義勝さん
(米内沢・74歳)
—消防功勞—



昭和35年から43年間、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域消防や防災活動の充実に尽力されました。

平成4年副分団長、7年から14年まで分団長を務められました。在職中は、団員の団結と地域住民との協力体制がないと消防防災活動の効果は期待できないとし、各分団の連携強化や自治会に協力を要請し、防災の啓蒙活動を積極的に展開しました。

受章について「退団から10年以上経っていたので、もらえるとは思っていなかった」と語り「家族のおかげで続けられた」などと感謝の気持ちを表しました。

春の叙勲
瑞宝単光章
よしだ よしたか
吉田 嘉隆さん
(川井・73歳)
—消防功勞—



昭和39年から45年間、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域消防や防災活動の充実に尽力されました。

平成13年旧合川町消防団長、17年に市消防団副団長、19年から21年まで団長を務められました。在職中は、豊かな消防知識と経験を生かして団員の育成と親和、互いの研さんに努め、消防人としての使命達成のため、自ら率先して業務に徹しました。

受章について「合併直後は、旧4町の団をまとめるかが課題だった」と語り「入団を勧めてくれた祖父に喜びを伝えたい」などと喜びを表しました。

春の叙勲
瑞宝単光章
なりた かねまさ
成田 金正さん
(今泉・77歳)
—消防功勞—



昭和36年から40年間、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域消防や防災活動の充実に尽力されました。

平成6年副分団長、8年から13年まで分団長を務められました。在職中は、地域の防災責任者として住民に防災意識の高揚を呼びかけ、地域ぐるみの防災体制づくりを実践し、消防施設の充実と消防力の強化拡充、火災予防活動に献身的に励まれました。

受章について「本当に光栄。大掛かりな消火活動の時も、地域一体となって取り組んだ。皆さんのおかげだと思う」などと感謝の気持ちを表しました。

危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章
よねざわ さとし
米澤 訓さん
(鷹巣字東中岱・71歳)
—警察功勞—



昭和40年から40年間、警察官として県警本部や森吉署などで警察業務に従事し、犯罪の防止や地域住民の安全に尽力されました。

平成16年矢島警察署長、17年から18年まで県警交通機動隊隊長を務められました。在職中は、警備警察を中心に、公共の安全と秩序の維持に努められました。また、与えられた仕事には誠実に取り組むことを心掛けて職務に精励されました。

受章について「責任と誇りを感じた。この仕事をやってきて本当に良かったと思う。住民の協力のおかげです」などと感謝の気持ちを表しました。

平成28年

春の叙勲 危険業務従事者叙勲

第26回

平成28年4月29日に発令された、平成28年春の叙勲と第26回危険業務従事者叙勲の市内受章者を紹介します。
※年齢は発令時点

春の叙勲
瑞宝双光章
おくやまほうじゅ
奥山 芳壽さん
(本城・73歳)
—更生保護功勞—



昭和46年から45年の長きにわたり保護司を務め、罪を犯した人たちの更生保護活動に尽力された功績が認められました。

浄福寺(本城)の住職。昭和46年に保護司に就任以来、犯罪や非行をした人に向き合い、生活上の助言や就労の援助などを行って、立ち直りを助けることを献身的に務められました。

奥山さんは「問題を抱えていた人が更生して働いているという話を聞くと嬉しい」と笑顔を見せて、受章については「長くやっているだけ。気恥ずかしい気持ちが大きい」などと控えめに話しました。

春の叙勲
瑞宝双光章
ながきじゅんいち
長岐 純一さん
(七日市・75歳)
—教育功勞—



昭和38年から38年間にわたり、教育者として北秋田地域の子どもの学力向上や教育活動の充実に尽力されました。

在職中は、自然体験活動を重視し、^{ちゅうぶくも}蝶や蜘蛛などの生き物を採取、活用した授業を展開するなど、生物学の楽しさを説きました。合川中、森吉中、鷹巣中の校長を歴任。また、県教育庁北教育事務所の副所長も務められました。

受章について「私自身には功績はありません。同僚や私の下で頑張ってくれた人たちの受章です」などと謙遜しながら話しました。

春の叙勲
瑞宝単光章
きくち ただお
菊地 忠雄さん
(阿仁幸屋渡・75歳)
—消防功勞—



昭和47年から34年間、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域消防や防災活動の充実に尽力されました。

昭和60年分団長、平成9年副団長に就任。17年から18年まで市消防団支団長を務められました。在職中は、火災発生時に分団責任者として、団員に的確な指示を与えて指揮を執り、時には自らの危険も顧みず最前線に立って、火災に立ち向かいました。

受章について「自営業だからいつでも活動できた。特別なことはしていない」と謙遜しながら「思いがけない光栄。謹んで賜りたい」と喜びを表しました。

春の叙勲
瑞宝単光章
すずきりゅういち
鈴木 隆一さん
(桂瀬・77歳)
—消防功勞—



昭和37年から39年間、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域消防や防災活動の充実に尽力されました。

平成7年から12年まで分団長を務められました。在職中は、消防の重要性を深く認識し、地域住民の生命、財産を守るため先輩団員の活動等を見聞し研さんを重ねました。

受章について「火事、水害、遭難と活動したが、自分の役割と思ってやってきた」と語り「言葉が出ないぐらいびっくりしている。先輩、同僚のおかげ」などと感謝の気持ちを表しました。